

(第3種郵便物認可)

障害者や高齢者にもホテルディナーを楽しんでもらおうと、「神戸ユニバーサルツーリズムセンター」(神戸市中央区波止場町)は、神戸市内のホテルで利用者の希望に応じた刻み食やペースト食を提供する企画を提案している。同センターの担当者が調理の要望を聞き取り、送迎サービスや食事介助ヘルパーの派遣なども有料で受け付けている。3月15日まで。

(貝原加奈)

神戸の4ホテルが協力



ホテルディナーを楽しむ岡島伸明さん(中央)と母親の富美子さん(左) 〓いづれも神戸市中央区港島中町6

和食懐石、洋食ビュッフェ… 刻み食で味わって

介助必要な人も
外食ディナー

NPO法人「ウイブス」の運営で快適な旅を支援する同センターが、かんだりのみ込んだりする機能が低下していても、気兼ねなく外食できるような企画。

趣旨に賛同した神戸ポートピアホテル「神戸たむら」▽ミキサーにかけたステーキをゼリーの素で固めた牛ヒレ肉ステーキ



通常メニューの赤鶏の炊き込みごはん(左)と刻み食の地鶏卵の粥(かゆ)

地元NPOが企画 「家族と一緒に楽しんで」

ANAクラウンプラザホテル神戸「ザ・テラス」▽神戸メリケンパークオリエンタルホテル「サンタモニカの風」▽ホテルオークラ神戸「和食堂山里」の各店がある4ホテルの協力を得て実現した。和食懐石料理や洋食のビュッフェなど、季節感のある素材や調理法にこだわったメニューが味わえる。

同市須磨区の主婦岡島富美子さん(66)は、手足にまひのある長男伸明さん(41) 〓同市長田区〓を連れて神戸ポートピアホテルに足を運んだ。食事介助のヘルパーが同席し、マグロやブリの刺身、ミキサーにかけて固めた牛ヒレ肉のステーキを口に運ぶとおいしそうに頬張った。「口を大きく開けて食べるのはおもしろい」と笑顔の富美子さん。「こんなごちそうをゆったりと一緒に味わうことはなかった。年に1回くらいはいいかも」と感動しきりだった。

野見朋子センター長(45)は「非日常を楽しむ時間は介護する家族にとっても貴重で大切なもの。この機会にぜひ利用して」と呼び掛けている。

事前予約が必要。同センター ☎078・381・6470